

トンネルでハロウィンを満喫

10/30 ~ ハロウィン一色の旧篠ノ井線廃線敷ウォーク

JR 東日本が企画するウォーキングイベント「駅からハイキング」(明科駅~旧篠ノ井線廃線敷コース)が、10月30日から11月1日にかけて開かれました。今回はハロウィンに合わせ、明科地域の小学生と園児が作ったカボチャのランタンを三五山トンネルに置くなどの装飾が施され、参加者は普段と違った雰囲気での廃線敷散策を楽しんでいました。

ハロウィンの衣装を身にまとった子どもたちと訪れた古川麻友さん(穂高)は、「おばけカボチャがあったので、前に来た時よりも、子どもたちも楽しんでトンネルを抜けられた」と話してくれました。



秋空に響く 平和への願い

10/24 歌声広場 in 鐘の鳴る丘

歌声広場 in 鐘の鳴る丘(主催:鐘の鳴る丘歌う会、早春賦愛唱会)が穂高地域の鐘の鳴る丘集会所で開かれ、同施設を利用していた有明高原寮関係者など約50人が平和の願いを込めて歌声を響かせました。

戦後75年の節目として企画され、戦災孤児の救済をテーマに昭和22年から600回以上にわたり放送されたNHKラジオドラマ「鐘の鳴る丘」の主題歌「とんがり帽子」の作曲者であり、現在放映中のNHK連続テレビ小説「エール」の主人公のモデルとなった古閑裕而氏の曲を中心に奏で、平和や命の大切さを曲に乗せて伝えました。



花フェスタの環境を生かして

10/30 豊科北小の児童がメモリアル花壇に定植

信州花フェスタ2019の開催を記念して整備されたメモリアル花壇(豊科・寺所北交差点近く)で、地元地権者の会と豊科北小4年2組の児童約30人による花の定植が行われました。児童たちは、昨年からの継続して携わっており、本年2回目の作業となる今回は寒さに強く色も豊富なパンジーの苗約200本を、手慣れた様子で植えていきました。

作業に参加した片桐歌威くんは、「昨年からの作業に慣れてきたので、ポイントを押さえながら植えられた。僕たちのクラスが頑張った手入れした花壇を多くの人に見てほしい」と期待を話してくれました。

感染リスク軽減へ 水栓を交換

11/7 ~ 水道事業協同組合による社会貢献活動

市内18社が組織する安曇野市水道事業協同組合は、地域への社会貢献活動の一環として、小・中学校と市立の認定こども園に設置している水道515カ所(132万円相当)の水栓を、ハンドル式からレバー式へ交換する作業を行いました。11月6日、活動報告に訪れた上條鉄郎さん(同理事長)は指先の触れる部分の少ないレバー式へ交換することで、新型コロナウイルス感染症拡大防止に期待できると話し、「水栓が変わったことに興味を持ってもらい、進んで手洗いをしてもらいたい。家庭での手洗いの習慣化にもつながれば」と期待を寄せました。



世界へWASABIの魅力発信

10/19 安曇野わさびプロモーション動画完成

新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ、安曇野わさびの需要を喚起する「安曇野わさびプロモーション動画」が完成し、全世界に100万人以上のフォロワーを持つ訪日外国人向けSNSサイト「JAPANKURU(ジャパングル)」や市HPに公開されました。約6分の動画では、清らかな水で育つワサビの映像や鮮度を保ったまま輸出するための工夫、おいしい食べ方などが紹介されています。

「WASABI」の魅力が存分に詰まった映像が世界へ配信され、需要拡大に期待が寄せられます。



申し込みをお忘れなく! 学生を対象とした支援

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている学生の皆さんを対象に支援を行っています。詳細は市HPまたは10月21日発行(No.321)の広報あづみのをご確認の上、期限までに申し込みください。

あづみの学生応援便

米やリンゴなどの地域産品を贈ります。申込フォームまたは申込書により申し込みください。

【対象者】下記いずれの条件も満たす人

- ①国内かつ長野県外に居住し、県外の大学・大学院・短期大学・専門学校などに在籍していること
- ②市内に住所を有する保護者などがいること

【申込期限】12月18日(金)

【問い合わせ】政策経営課 ☎71・2401 ☎71・5155

高校生世代支援臨時給付金

対象者1人につき2万円を支給します。10月下旬に送付した「申出書」を記入し、同封の返信用封筒により提出してください。

【対象者】

平成14年4月2日から平成16年4月1日に生まれた人(高校等への在学問わず)

【申込期限】12月25日(金)

【問い合わせ】子ども支援課 ☎71・2255 ☎72・2065